



ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
「土と人情」に囲まれた。ナナミ
ちゃんの「私、土の子」奮闘記

デカッ!!
ハナ 豪雨の
中12匹目の
ネスミ
08.19撮影



1 長雨で野菜にダメージ



↑08.18雨続きでトマトが割れ
↓ブルーベリーの実も割れて、



△雨に濡れた野菜は玄關土間に広げ、扇風機の風で乾かす↓
△キュウリやナスにピーマンと万願寺唐辛子やパプリカに

八月は雨続きで曇天ばかり、トマトや人参にブルーベリーは割れてしまい、他の野菜も丈やツルが伸び過ぎ、今後の台風など強風が心配です。

←色々なナスに茗荷やズッキーニ。

↑08.18東京の野菜会員へ宅配便、ジャガイモ・キュウリ・ナス・冬瓜・人参とピーマン・ハバロサ・インゲン・インゲン・オクラに長ネギ・ミニトマト・茗荷にモロヘイヤを送った。



→雨上がりの午後、カカを手伝いトモも収穫、割れた実は土に埋め残りはジャム



↑08.25も収穫は続く。



08.18夕方の収穫↑パプリカとピーマンにアスパラ、キュウリにワラビを庭畑で。



目次

- 1 長雨で野菜にダメージ 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? 1
- 3 エコハウス私論 2
- 4 八月のお味 2

ハイライト

8月23日～27日「綿村開めんぷひらく」「村」とは花の萼(花のもっとも外側の部分)のことで、「うてな」と読まれることも。綿の実を包む萼が開き始める頃という意味。



08.25コナラのドンクリ葉を5枚ほど付け、クルクル回って種を飛ばす。

綿とはアオイ科ワタ属の多年草の総称で、その木は

7月から8月にかけて一日だけ淡く黄色い花を咲かせる。それから50日ほどで実が熟し、それがはじけると、綿花あるいは木綿と呼ばれる部分が顔を出す。すなわち綿の村が開く頃とは、いよいよ綿花を摘む時期が到来したことを意味する。小学生の頃、通学路の綿花畑で綿をとって遊んだ記憶が、川崎市の中ほどで田畑の中にも、南武線中原駅前には富士通信機の工場が、フェンスに蜂の巣があれば叩き落とし、蜂の子を食べ、友達が一緒だったのか? 顔も思い浮かべられない年月が・・・綿花の種子から綿実油が採れ、食用油として使われるほか、マーガリンや石鹸の原料とされる。油を搾ったあとのカスは家畜の飼料や肥料とされるなど、人間にとって大いに有用な植物。

2 「ナナミちゃんのお宿」は?



↑08.14料理の野菜、トウモロコシにナス色々、ワラビにアスパラ、モロヘイヤ、キュウリにゴーヤとインゲンやパプリカにミニトマト、葉つき人参にヤングコーンを朝取り。

四泊五日の料理メニューに悩み、出来上がった食材リストを持ち、必要な物を仕入れに街へ。焼き魚も塩糺に漬け西京漬にしたりと四苦八苦、煮物やサラダを用意したり。バスタオルなどの洗濯に野菜の収穫も日々こなし、カカ様良く出来ました、ごくろうさん。



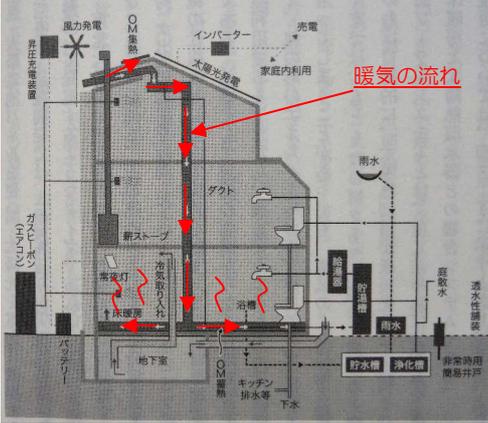
↑朝食に卵料理は欠かせない、ダシ巻卵、目玉焼きにウインナー、温泉卵に長芋トコロと海苔をのせるなど、出来ることを色々。



↑ご飯は朝晩で六食、梅酢ご飯、曙大豆ご飯、トウモロコシご飯にササゲ豆のお赤飯、グリーンピースご飯が二回、ご飯は炊込みにこだわって。

4 エコハウス私論

図3-4 羽根木エコハウス OMソーラーシステムによる床暖房と給湯のしくみ



るな経路があり得るが、重要なのは暖房が増えることによるものだろう。羽根木エコハウスは、窓のような外部建具工事と壁面の断熱工事で純粋に環境対策工事に要した金額は、合計で約百二十万円であり(農事通信292号の図4-1)環境対策費用の約十三%を占めるに過ぎない。その断熱が、削減量では三十%以上を稼ぐので、費用対効果の点でも、最大の貢献をしたと言える。断熱は、住み心地を決める意味で、エコハウスの基礎体力と書かせていただいたが、環境対策の効果、そして経済性の観点からも、エコハウスを建てようという施主さんに強くお勧めする。』次へ続く

5 八月のお味

長雨の夏、水気の好きな野菜は、次から次と成長する。お野菜会員へ届けても、カカトの自家消費だけでは野菜が残る。そこで梅干しにシソの葉を増量する時に、取り置いた梅酢を野菜の漬け汁に活用します。根生姜は甘酢生姜に、葉生姜の甘酢漬けは「はじかみ」に、前号では梅の保存食を書きましたが、さしす梅酢や梅酢が無ければ、これも味わえません。カカは忙しいですが、トトはありがたい。



醤油や調味料と刻生姜を煮て ↑キュウリを切り / 鍋の煮汁に漬ける →キュウリのPちゃん漬。メーカーさんより一歩下がったネーミングに

←大根を切り、さしす梅に梅干しの梅酢と酢に砂糖などの漬け汁へ ←ピン詰にして冷蔵庫で保存する大根甘酢漬



←茗荷から塩で出た水分を捨て ←甘酢大根と同様の梅酢漬け汁を注ぎ、袋から空気を抜き冷蔵し茗荷が漬かったらピン詰、茗荷甘酢漬

→人参に赤玉ネギとキュウリやパプリカを切り、さしす梅酢で漬込む簡単ピクルス



『太陽熱床暖房も暖房の節約や代替えで、削減量の約六十%を出したことになる。太陽熱給湯については、太陽光発電は南面に置けば、大変優れたパフォーマンスを示すと期待されるが、初期投資は、太陽熱利用より大きくなる。大きな初期投資を避けて高い効果を狙うなら、太陽熱利用が有力な選択肢となろう。

羽根木エコハウスでは、太陽光発電量の数字や太陽熱給湯の温度に自然の恵みが実感されるだけではない。雨が降れば雨水タンクに水が貯まるし、風が吹けば、風力発電機の風車が回る。壁面緑化のツル植物には可憐な花が咲いて季節を伝える。雪が降っても窓は曇らず、雪見酒と洒落込める。高気密高断熱で、隠れた設備が満載のハイテクハウスと聞くと、エコハウスは、自然と疎遠な存在に違いないと想像する向きも多かろう。しかし実際は、エコハウスとは、自然の恵みをむしろ身近に感じさせる家なのだ。窓から見る景色も良くなった。緑化植物のツル植物は、二年もするうちに十分繁茂し、西側や南側では、家の壁伝いに三階まで上がってきて、毎年切り払うのに苦労するくらいの成長を見せている。植えた時は三メートル程度だったハンノキも、六年目で棟の高さまで育った。夏にはこうした草木が、涼しげな風を室内に運んでくれる。さらに、静かで心地よいことも報告するべきだろう。複層ガラス窓を閉め切ると外の音が遮断され、引越し当初は耳鳴りを感じるほどだったし、ムクの床材は、素足に暖かく、さらっとして気持ちよい。』次号に続く。